

装置の概要

【型式等】

- 装置名称：示差熱重量分析装置
- メーカー：テー・エイ・インストルメント
- 型式：SDT 650

【仕様】

- 温度範囲：室温~1500℃
- 熱天秤：水平式デュアルビーム
- 最大サンプル量：200 mg



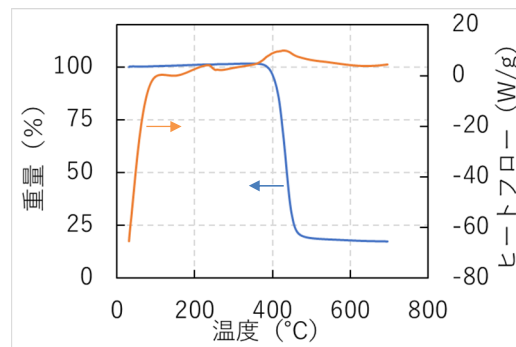
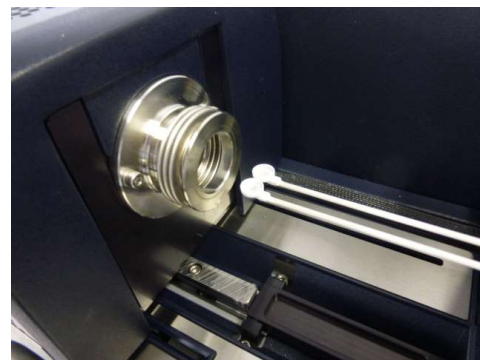
材料の熱特性がわかります！

【装置の特徴】

- 本装置では示差熱分析(DTA)と同時に熱重量分析(TG)を行うことができます。
- 示差熱分析と熱重量分析では、試料と基準物質の温度をプログラムに従って変化させ、温度差および試料重量の変化を測定します。
- 得られたデータは、研究開発から製造や品質の管理に活用することができます。
- 測定対象は、高分子材料をはじめ有機材料、金属、セラミックなど様々です。

【主な用途】

- 脱離を伴う反応・昇華・蒸発・熱分解・脱水・熱安定性・試料組織の推定などの解析
etc...



プラスチックのTG-DTA曲線

料金・問い合わせ先

	区分	単位	料金(円)
設備使用	熱分析装置(TG-DTA) (SDT 650)	1時間ごと	1,530
依頼試験	物性試験-熱特性-熱分析 -TG/DTA(1回で測定完了するもの)	1試料につき	5,450

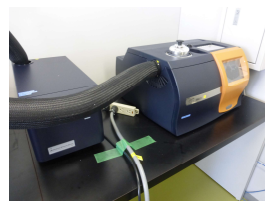
〒963-0297

郡山市待池台1丁目12番地

TEL：024-959-1739（繊維・高分子科）

FAX：024-959-1761

併せて使うと効果的です！

熱分析装置(DSC)
(DSC25)
(2,400円/時間)熱分析装置(TMA)
(TMA450)
(1,560円/時間)

県外企業は料金が2倍となります。詳しくは担当科までご確認ください。